

南あわじ市 平成 23 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

基本事項

		整理番号	762
事業名	松くい虫防除事業(自主防除・市単独伐倒駆除・市単樹幹注入)	予算科目	会計 一般会計・1 款 農林水産業費・6款 項 林業費・2項 目 林業振興費・2目
担当部課名	農業振興部 農林振興課		
電話	0799-43-5025		
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり	
	まちづくりの目標	大好き ふるさと南あわじ【郷土愛】	
	施策目標	地域の歴史を学び、祭や伝統文化に親しみ、語り継ぐことのできる市民を育てる	
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託 負担金補助

Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 市内に分布している松林群 対象人数(人)	
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 松茸山や慶野松原などの景勝地の景観形成による地域経済の面において、また土砂流出や海岸の飛砂、潮害防止等の森林の防災機能の面においても重要な役割を担っている健全な松林群の保全を目的とする。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 自主防除については、松林に薬剤の散布を実施することで、松くい虫の被害を未然に防ぎ健全な松林を保全するために実施。 伐倒駆除については、松くい虫(マツノザイセンチュウ)の被害にあった枯れ松が、新たな感染源となり周囲の松林に被害を及ぼさないよう、伐倒し破砕、又は薬剤散布を実施。 樹幹注入については、松の木の樹幹部に薬剤の注入し、松くい虫に対する松の耐性を高めるために実施。	
	背景、委託根拠	(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向) 松は南あわじ市にとって、市の木に指定されており市のシンボリック的存在である。加えて慶野松原等の松林群は貴重な観光資源でもあり、また防災面においても山林部からの土砂流出や海岸の飛砂、潮害防止等の観点から重要な役割を担っていることから、本事業を実施し健全な松林を保全している。	
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ()	
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 23 年度 ~ 平成 23 年度 <input type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から		

Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	伐倒木材積					指標単位
							m ³
	指標説明 (指標算出 方法等)	年度毎の伐倒駆除量(材積)を指標とする。					
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標値	27	30	77	50	50	
	実績値	27	30	77			
	達成度(%)	100.0	100.0	100.0	-	-	
目標値設定 の考え方	年度毎に被害量(材積)を調査し、その被害量に基づき事業を実施していることから、この数値を伐倒駆除すべき数値として目標値に設定した。						
資源配分 (インプット)		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	直接事業費 (千円)	3,480	1,645	1,750	3,262	3,262	
	伐倒駆除委託料	938	1,174	1,545	1,590	2,461	
	樹幹注入委託料	1,329	0	0	1,364	310	
	自主防除委託料	221	78	101	101	101	
	事務費(需用費等)	992	393	104	207	390	
	財 源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	3,480	1,645	1,750	3,262	3,262	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	6,278	2,820	2,740	0	0	
	平均人件費(1日当り)	27.9	28.2	27.4	26.8	26.8	
事業量1(事業に要した日数)	15	10	10				
事業量2(事業に要した人数)	15	10	10				
年間経費([A]+[B])	9,758	4,465	4,490	3,262	3,262		
'目的'対象人数1人当り経費 (円)	-	-	-	-	-		
経費に関する 補足説明	松くい虫補助対象事業費以外(事務費含む。)平成22年度まで決算額。平成23~24年度は当初予算額。						

Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
達成度	目標達成度	%	100.0	100.0	100.0	-	-	
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 計画通りに、実施されている。						自己評価 (5点評価)	3
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 地元住民の意向や危被害防止等、やむを得ない事情により防除事業を中止した区域については、急速に被害が拡大しているが、継続して防除事業を実施している松林群については数多くの健全な状態の松が残っていることから、薬剤の散布、伐倒駆除、樹幹注入により松林の防除効果が顕著に表れている。						自己評価 (5点評価)	4
	事業単価	円	-	-	-	-	-	
効率性	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 妥当である。						自己評価 (5点評価)	4
	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低				
必要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 松くい虫防除については、森林病虫害等防除法に従い実施している事業である。薬剤の散布、伐倒駆除、樹幹注入等の松くい虫防除は、一旦中止してしまうと急速に被害木が広がってしまうため、継続的に実施していくことが必要となる。松林は観光面及び防災面等において重要な役割を担っており、公共の利益性の高いものであることから、今後も保全していくべきである。						自己評価 (5点評価)	5
	総合評価	<p>自己評価をふまえた現状分析</p> <p>南あわじ市における松くい虫被害は、未だ収束に向かっておらず、県の事業縮小により防除を中止した箇所については、急速に被害が広がっているのが現状であることから、今後も慶野松原周辺や阿万吹上周辺等の保全すべき松林群については、引き続き薬剤散布及び伐倒駆除の実施が必要である。</p> <p>また、樹幹注入については、薬剤散布に代わる周囲への危被害の心配のない松くい虫被害の予防法として有効ではあるものの、事業費が大きくなっていくことから、前述の保全すべき松林群の中でも特に重要と考えられる松を選択集中して実施すべきである。</p>						<p>評価グラフ</p>

Action & Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成24年度にできる改善・改革	平成25年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>松くい虫防除事業については、今後も継続していくべきであるが、国、県の予算が縮小傾向にあることから、今後は市が担うべき部分が拡大していくことが想定される。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>松くい虫は、感染力が非常に強いため、一旦防除を中止してしまうと急速に被害木が広がってしまう危険性が高い。また、南あわじ市にとって松林は観光資源として、防災資源として重要な役割を担っていることから、その松林の損失による市全体へのダメージは計り知れないものになる。</p>	